

**製品名:** ヌクレオフォスミンマウスモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMM80500

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	33kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Nucleophosmin
別名	B23; NPM
遺伝子 ID	4869.0
SwissProt ID	P06748
免疫原	大腸菌で発現したヒト NPM (2-265) の精製された組み換え断片。

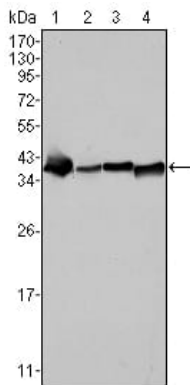
**背景**

ヌクレオフォスミン (NPM) は、B23 または NO38 と呼ばれ、腫瘍細胞や増殖細胞において正常休止細胞よりも 20 倍多く存在する主要な核小体タンパク質です。NPM は、リボソームの組み立てと輸送、細胞質/核輸送、DNA ポリメラーゼ  $\alpha$  活性の調節、中心体

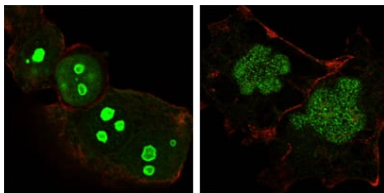
複製、分子シャペロン活性など、いくつかの異なる細胞機能に關与していることが示唆されています。NPMは、未分化リンパ腫キナーゼ (ALK) 受容体チロシンキナーゼとの融合体としても知られています。NPM部分は二量体化ドメインを提供することで形質転換に寄与し、融合キナーゼの活性化をもたらします。

## 研究分野

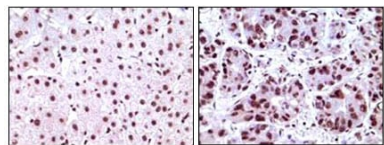
## 画像データ



SMMC-7721 (1)、HepG2 (2)、HeLa (3)、HEK293 (4)細胞溶解物に対する NPM マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



NPM マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞 (左) および NTERA-2 細胞 (右) の共焦点免疫蛍光染色。赤: アクチンフィラメントは DY-554 ファロイジンで標識されている。



パラフィン包埋ヒト肝癌組織の免疫組織化学分析。DAB 染色による NPM マウス mAb を使用して核局在を示しています。